

科目名	哲学史（東洋）					単位	2.0
担当教員	平野 克典						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5308

●授業のテーマ

映画から読み解く哲学的諸問題

●到達目標

- ①物事を根源的に考え、複眼的に問う思考法を習得する。
- ②哲学的諸問題に対する東洋の思索の流れを確認する。

●学習内容(授業概要)

本授業では主に、インドを舞台とする映画を鑑賞して、映画の基底にあるテーマを根源的に考察していく。扱うテーマは苦悩、自己、非暴力、博愛である。鑑賞後にはテーマを巡り、東洋の哲学者がいかなる思索を巡らせたかを歴史的に概観する。インドを舞台としない映画も鑑賞するが、その場合は同映画のテーマに対し、東洋の哲学者がいかなる視点で問い、思索したかを西洋哲学との比較から検討し、その特徴を明確としたい。なお、学生には各テーマに対するレポートが課せられる。(計4回)

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. イントロダクション
2. 『リトル・ブッダ』前半 鑑賞
3. 『リトル・ブッダ』後半 鑑賞
4. 苦悩と欲望
5. 『私を離さないで』前半 鑑賞
6. 『私を離さないで』後半 鑑賞
7. 自己とは何か
8. 『ガンディー』前半 鑑賞
9. 『ガンディー』後半 鑑賞
10. 不殺生と自己の義務
11. 『マザー・テレサ』前半 鑑賞
12. 『マザー・テレサ』後半 鑑賞
13. 博愛と自己犠牲
14. 人間知を求めて
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

本講義で鑑賞する映画の原作本や参考資料を読むこと。  
 なお、第一回目の「イントロダクション」で文献表を配布する。

●成績評価方法・基準

授業への参加状況（授業態度、レポート）50%と定期試験50%

●テキスト（必携）

なし。

●参考文献／その他  
授業時に指示する。

●履修上の注意

映画鑑賞は受け身になりがちであるが、鑑賞後にはレポート提出など積極的な授業参加が求められる。楽勝授業ではないので注意。